

本部

順心会本部
〒675-0122 加古川市別府町別府865-1総務・人事
TEL(079)430-0270 FAX(079)430-0271
経理
TEL(079)430-0272 FAX(079)430-0271のじぎく福祉会本部
〒675-0003 加古川市神野町神野136-8

TEL(079)438-9696 FAX(079)438-9697

病院

順心病院

脳神経外科/整形外科/耳鼻咽喉科/消化器内科/消化器外科/神経内科/形成外科
TEL(079)437-3555 FAX(079)437-6785【診療時間】午前9:00~12:00 午後16:00~19:00
★診察科目、時間等は上記の電話にてお問い合わせ下さい

順心リハビリテーション病院

内科/リハビリテーション科/神経内科/循環器内科/放射線科/歯科口腔外科
TEL(079)438-2200 FAX(079)438-6085★通所リハビリテーション ■実施日 月~土
2部 9:00~12:15[送迎あり]
2部 13:15~16:30[送迎あり]
TEL(079)438-9070

加古川脳神経・認知リハビリテーション研究センター TEL(079)451-8730 FAX(079)451-8731

順心淡路病院 内科/呼吸器内科/消化器内科(内視鏡)/循環器内科/糖尿病内科/外科/整形外科/脳神経外科
皮膚科/放射線科/リハビリテーション科/歯科口腔外科
TEL(079)438-2200 FAX(079)438-6085

★ご案内 ●歯科口腔外科(月・木・金・土) ★診察科目、時間等は上記の電話にてお問い合わせ下さい

順心神戸病院 脳神経・整形外科/救急科/内科・外科/肛門外科/リハビリテーション科/皮膚科・麻酔科
TEL(078)754-8700 FAX(078)754-8701白寿苑 受付窓口営業時間 月~金/8:45~17:30 土/8:45~13:00 200床
TEL(079)438-2999 FAX(079)430-5108淡路白寿苑 受付窓口営業時間 月~土/8:30~17:30 日/祝/休業 100床
TEL(079)62-7200 FAX(079)62-7201夢前白寿苑 受付窓口営業時間 月~金/9:00~17:00 土/9:00~13:00 日/祝/休業 100床
TEL(079)335-3320 FAX(079)335-1060加古川白寿苑 受付窓口営業時間 月~土/8:45~17:30 日/祝/休業 100床
TEL(079)430-0033 FAX(079)430-0034加西白寿苑 受付時間 平日/9:00~17:00 土/9:00~13:00 日/祝/休業 50床
TEL(079)43-9800 FAX(079)43-9801高砂白寿苑 受付窓口営業時間 平日/9:00~17:30 土/9:00~17:30 日/祝/休業 100床
TEL(079)247-9811 FAX(079)247-9815神戸長者町白寿苑 受付窓口営業時間 月~土/8:30~17:30 日/祝/休業 100床
TEL(078)646-9890 FAX(078)646-9893順心会看護小規模多機能型居宅介護別府
TEL(079)451-5544 FAX(079)451-5534順心会訪問看護ステーション別府
TEL(079)451-5104 FAX(079)451-5103順心会訪問看護ステーション加古川
TEL(079)438-4565 FAX(079)430-5152順心会訪問看護ステーション宝殿
TEL(079)433-0901 FAX(079)433-0915順心会訪問看護ステーション学園都市
TEL(078)754-9164 FAX(078)754-9165順心会訪問看護ステーション淡路
TEL(079)62-6910 FAX(079)62-6911オリーブの家 18名
TEL(079)60-1150 FAX(079)60-1151しらぎくの家 9名
TEL(079)430-0888 FAX(079)430-0888しらゆりの家 9名
TEL(079)43-9804 FAX(079)43-9804すずらんの家 18名
TEL(079)430-5030 FAX(079)430-5031のじぎくの里 9名
TEL(079)247-9206 FAX(079)247-9201こすもす園 デイサービス営業時間 月~土/9:20~16:30 50名
TEL(079)438-7770 FAX(079)438-7686のじぎくの里 デイサービス営業時間 月~日/9:00~16:30 ホームヘルパー受付時間 月~日/8:30~17:30 70名
TEL(079)247-9200 FAX(079)247-9201れい和こすもす園 29名
TEL(079)438-0666 FAX(079)438-7685発行所 社会医療法人社団順心会本部
〒675-0122 加古川市別府町別府865-1
TEL(079)430-0270 FAX(079)430-0271社会福祉法人のじぎく福祉会本部
〒675-0003 加古川市神野町神野136-8
TEL(079)438-9696 FAX(079)438-9697発行責任者/理事長 栗原 英治
印 刷 所/田中印刷出版株式会社 〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町3-1-4
発 行 日/令和8年1月30日 ①34302026
1

Vol.60

きぼう



- 理事長挨拶
- フォローアップ研修/研究交流会
- 現場を支える新しい仲間 - 特定技能人材とともに歩む順心会 -
- 令和7年度職員旅行について/ハラスマント研修
- 障がい者ケアセンターかんの 生活介護サービスのご案内



順心会

E-mail:hojin_honbu@junshin.or.jp

https://www.junshin.or.jp/

求人サイト
https://www.junshin-recruit.jp/

のじぎく福祉会

http://www.nojigiku.or.jp/



新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、穏やかに新春をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

2026年を迎える、医療・介護を取り巻く環境は大きな転換期にあります。物価やエネルギー価格の上昇により、全国の多くの医療・介護施設が厳しい経営環境に直面している状況は、報道等でも広く取り上げられるようになりました。

こうした状況を受け、国の政策においても、地域医療・介護を持続可能なものとするため、物価や賃上げを反映した診療報酬・介護報酬の見直しの必要性が、これまで以上に現実的な課題として議論されるようになっています。特に介護分野においては、本来の改定時期を待たず、状況に応じて前倒しで報酬を見直す動きも見え始めており、医療・介護現場を下支えするための制度の在り方に注目が集まっています。

当院といたしましては、こうした社会や制度の動きを注視しながら、変化に適切に対応するとともに、限られた環境の中でも医療・介護の質を維持・向上させるため、業務の効率化やICTの活用を進めてまいります。そして何より、患者様・利用者様の負担や、必要な医療・介護サービスを適切なタイミングで、無理なく利用できるよう、地域に根ざした医療・介護機関としての役割を大切にしてまいります。

本年も、地域の皆様の健康と安心を支える存在であり続けられるよう、職員一同、誠心誠意努めてまいります。

皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



社会医療法人社団 順心会
社会福祉法人のじぎく福祉会 理事長 栗原 英治

順心会は、地域医療の皆様に安心と信頼の医療を提供いたします

順心病院



24時間 脳神経外科
救急対応を行っております

☎ 079-437-3555

順心神戸病院



24時間 救急対応を行っております
土・日・祝日救急対応は、
整形外科・脳神経外科を強化中

☎ 078-754-8700

順心リハビリテーション病院



社会復帰を目指しリハビリ
提供を積極的に行っております

☎ 079-438-2200

順心淡路病院



急性期～回復期～慢性期～在宅へ向け、
とぎれのない良質な医療・介護
を行っております

☎ 0799-62-7501

フォローアップ研修



令和7年4月1日、順心会とのじぎく福祉会の両法人合わせて58名の新入社員を迎えるました。入社から約半年が経過したことを受け、4月に立てた目標の振り返りや今後の目標の再設定、また仲間同士の情報共有を目的として、11月11日と11月27日の2日間に分けてフォローアップ研修を実施しました。

午前中は、4月に立てた目標の振り返りと、半年後に向けた新たな目標設定を行いました。その後、同職種ごとのグループに分かれ、各自が発表を行い、グループ内で情報共有を行いました。

午後からは、他職種混合のグループに分かれ、実際に病院や各施設で起こり得るケースを想定したケースワーク集に取り組みました。それぞれの職種によって考える視点が異なることから、職種ごとの考え方や着目点の違いについて、新たな気づきや発見を得る機会となりました。

最後に、一日の振り返りも兼ねて、決意表明として「半年後の2026年4月時点でどのような自分になっていたいのか」「そのために何をすべきか」をテーマに、1人2分ずつ発表していただきました。全員が半年前と比べて明らかに成長した姿を見せてくれ、安心するとともに、大変心強く感じました。

参加者からは、「来年度に向けた目標を同職種グループで話し合う場では、他の同期の目標を聞く中で、新たな目標を立てるきっかけに気づくことができ、大変有意義な意見交換の場となりました。」「お互いの現状を話し合うことで、自分だけが悩んでいるわけではないと分かり、不安が軽減しました。また、他の同期がどのような工夫をしているのかを知ることができ、今後の自身の業務改善の参考になりました。」「自分の中にはなかった新鮮な考えを共有してもらい、とても良い刺激を受けました。」「悩みや不安が出てきやすい時期で、モチベーションも少し下がり気味でしたが、今回、同期で集まり話せる機会を設けていただいたおかげで、それぞれが各現場で奮闘していることを知ることができ、同期の心強さを改めて感じました。明日からも頑張ろうと思います。」とコメントいただきました。

今後も、順心会およびのじぎく福祉会のさらなる発展に貢献してくれることを期待しています。



研究交流会

2026年1月31日(土)に、ホテルオークラ神戸 平安の間にて
「第17回 順心会・のじぎく福祉会 研究交流会」を開催する運びとなりました。



〈第17回 開催テーマ〉

「医療崩壊の危機にどう立ち向かうか ～持続可能な組織を目指して、今私たちができること～」

今回より新たな取り組みとして、人材不足や利用者数の減少など、私たちが直面している医療・福祉現場の課題を改めて見つめ直し、各施設における業務改善、ICTの導入、人材確保などの具体的な取り組みを共有することで、法人全体の連携と学びを深めることを目的としています。

開催テーマに沿って、学術的・経営的視点を重視した研究に取り組み、現在、各施設において演題発表に向けた準備が進められています。今回よりテーマを統一したことで、各研究の成果をより比較しやすい内容となることが期待されます。各施設からどのような研究発表が行われるのか、私たちも非常に楽しみにしています。

なお、研究交流会当日の内容につきましては、次号にてご紹介する予定です。どうぞお楽しみに。



第16回 順心会・のじぎく福祉会 研究交流会

【なぜ今「特定技能人材」なのか】

少子高齢化の進行により、医療・介護の需要は今後も高まる一方、現場を支える人材の確保は全国的な課題となっています。医療・介護の質と安全を維持するためには、安定した人材確保と計画的な育成が欠かせません。こうした背景のもと導入されているのが「特定技能人材」です。特定技能制度は、人手不足が深刻な分野において、一定の技能水準と日本語能力を有する外国人が就労できる在留資格制度であり、医療・介護分野では専門性をもって現場業務に従事できる人材として位置づけられています。

特定技能（介護）では、国が定めた技能試験への合格と、業務に必要な日本語能力が求められ、在留期間は最長5年とされています。さらに、在留中に【介護福祉士】の資格を取得した場合には、在留資格の変更により長期的な就労が可能となり、永住につながる道も開かれています。これにより、将来を見据えた人材育成と定着が可能となります。

特定技能人材は、単なる「外国人労働者」ではなく、制度に基づく要件を満たした資格ある専門人材です。日本人職員と同じチームの一員として、患者さん・利用者さんの安全と安心を支えています。

このたび順心会では、初めて特定技能人材を受け入れることとなり、順心リハビリテーション病院において、現場を支える新しい仲間4名が加わりましたので、ご紹介させていただきます。特定技能人材の受け入れは、多様な人材が互いを尊重し、共に成長できる職場づくりを大切にし、現場の安定とサービスの質の向上につながる取り組みです。

4名の新しい仲間のご紹介

※本特集では、個人情報保護およびプライバシーへの配慮から、スタッフの氏名は掲載しておりません



- ・出身国：インドネシア
- ・趣味：音楽鑑賞、料理
- ・日本語レベル：日常会話が可能
業務指示は日本語で理解できる
- ・ひとこと：積極的にあいさつすることを心掛けています。



- ・出身国：インドネシア
- ・趣味：音楽鑑賞、料理
- ・日本語レベル：日常会話が可能
業務指示は日本語で理解できる
- ・ひとこと：小さなことでも報告、連絡、相談を大切にしたいと思います。



- ・出身国：インドネシア
- ・趣味：料理、ケーキ作り
- ・日本語レベル：日常会話が可能
業務指示は日本語で理解できる
- ・ひとこと：患者さんとどうまくコミュニケーションがとれるように日本語をはやく話せるようにしたいです。



- ・出身国：インドネシア
- ・趣味：映画鑑賞、絵を描く
- ・日本語レベル：日常会話が可能
- ・ひとこと：今よりもオムツ交換がもっと早くできるように頑張りたいです。

▶現場レポート | 医療・介護現場で働く特定技能スタッフの一日

今回の現場レポートでは、順心リハビリテーション病院で働く特定技能スタッフの、一日の流れや仕事への思いを伺いました。実際の現場の様子を通して、特定技能人材の「リアル」をご紹介します。

〔出勤〕

朝は神姫バスに乗って、他の職員と同じ時刻に出勤します。病棟に上がって1日の業務内容を自分たちで確認し、業務に取りかかります。



〔業務内容〕

病棟での看護補助業務を担当しています。患者様のオムツ交換や入浴介助、シーツ交換や環境整備など、チームの一員として役割を担っています。

これから各病室を回ります



〔休憩時間〕

休憩時間は日本人スタッフと一緒に、休憩室で手作りのお弁当を食べます。仕事以外の話題で会話が弾むこともあります。また、昼食後に彼女たちにとって大切な礼拝（サラート）を行います。浴室にマットを敷いてお祈りします。

お弁当は毎日
手作りです



〔日本人スタッフとのやり取り〕

初めは日本人スタッフから声掛けして業務を進めていましたが、慣れてきた今では自分から「これしますか？」「何かありますか？」など進んで聞いてきてくれます。



〔本人コメント〕

日本で働いて感じたこと

「仕事の進め方が早い事や、時間をきちんと守る事、そしてたくさんの親切な人に出会いました」

「責任感の強さと丁寧な仕事の仕方を学びました。小さな事でも、報告・連絡・相談が大切だと感じました」

〔仕事のやりがい〕

「私のやりがいは、利用者さんに挨拶すると暖かい笑顔で元気に迎えてもらえることです」

「患者さんの日常生活を支える仕事にやりがいを感じています。小さな変化に気づけたとき嬉しくなります」

〔困ったこと・成長したこと〕

「困ったことは、日本語の専門用語や言い回しが難しかったことです」「言いたいことがすぐに出て来ず困ることがありました」

「成長したことは、積極的に挨拶をするようになり、少しずつ日本語でコミュニケーションが取れるようになったことです。」

〔受け入れ側の声 | 特定技能人材を迎えて〕

特定技能人材の受け入れにあたり、現場や管理部門ではどのような思いがあったのでしょうか。

ここでは、実際に関わる職員の声をご紹介します。



●看護師長・介護主任・教育担当者の声

Q. 導入前に不安はありましたか？

言葉はわかると聞いていたがどの程度通じるのか、文化の違いなどからコミュニケーションが上手くとれるのか不安でした。

Q. 実際に受け入れてみていかがですか？

仕事に対する姿勢はとてもまじめで好印象です。文化の違いや日本の職場での働き方に戸惑いもあるかと思いますし、私たちも戸惑うことはありますが、よく頑張ってくれていると感じます。

Q. 日本人スタッフへの影響はありましたか？

最初はかかわり方に関して戸惑う意見が多かったように思いますが、それも少なくなっているように思います。日本人スタッフも接し方や話し方、教育の仕方など成長しているのを感じます。

Q. 教育面で工夫していることはありますか？

定期的に指導者と一緒に実技訓練をしており、細かい注意点を翻訳しながら伝えます。また、業務中は理解度をその都度確認しながら無理のないペースで指導しています。



Q. 成長を感じる場面はありますか？

仕事に関して出来る事が増えてきました。最初に比べて明るい声掛けができるようになり、患者様に笑顔で接している場面も見られるようになりました。

●事務（人事・総務）の声

Q. 受け入れにあたり苦労したことは何ですか？

地域性もあり、住居探しから難航しました。登録支援機関のアドバイスをいただきながら、電化製品や生活用品の準備、規程や説明書類の整備など手分けして準備をおこないました。

Q. 今後に向けての思いを教えてください。

持続可能な人材確保を目指す中で、特定技能人材の受け入れは重要な選択肢です。外国の方が活躍できる環境を整えながら、本人の将来と組織の成長の双方につなげていきたいと思います。

今回の特集では、医療・介護現場を支える新しい仲間である「特定技能人材」についてご紹介しました。特定技能人材は、制度に基づいた資格と能力を備え、私たちと同じ目的意識をもって現場で働く大切な仲間です。

順心会では、国籍や文化の違いに関わらず、一人ひとりが安心して力を発揮できる職場づくりを大切にしています。特定技能人材の受け入れは、人材確保にとどまらず、現場の活性化や医療・介護サービスのさらなる質の向上につながるものと考えています。

これからも私たちは、多様な仲間とともに学び、成長しながら、地域に信頼される医療・介護の提供に努めてまいります。

令和7年度職員旅行について



今年度の職員旅行の行先は、台北(2泊3日)・軽井沢(1泊2日)・広島(日帰り)のコースとなっております。2019年のシンガポールを最後に、海外旅行はしばらく実施できませんでしたが、このたび6年ぶりに海外旅行として台北行きが復活いたしました。簡単ではございますが、今回の職員旅行について紹介させていただきます。

◇台北

2023年オープンの最新日系ホテル「ソラリア西鉄ホテル台北西門」に泊まる、九份、十分をはじめとする人気観光地や台湾の名店「欣葉(さんよう)」の夕食付き、台北満喫2泊3日。

1日目 台北・桃園空港着⇒台北市内観光(中正記念堂、龍山寺)⇒夕食「欣葉(さんよう)」⇒ソラリア西鉄台北西門泊

2日目 午前自由行動⇒九份、十分観光⇒九份での郷土料理夕食⇒ソラリア西鉄台北西門泊

3日目 忠烈祠衛兵交代式の見学⇒台北・桃園空港発

◇軽井沢

善光寺詣りとリゾート地軽井沢プリンスホテルウエストに泊まる豪華夕食ビュッフェ付き1泊2日。

1日目 松本空港着⇒松本・石井味噌⇒善光寺⇒軽井沢プリンスホテル ウエスト泊

2日目 白糸の滝⇒旧軽井沢銀座通り⇒軽井沢ショッピングプラザ⇒大王わさび農場⇒松本空港発

◇広島

広島グルメを満喫、JRで行く日帰り旅行。夕食は宮島の高級な国産穴子会席フルコース。

昼食:ひろしまお好み物語駅前広場⇒宮島(厳島神社)⇒夕食:廣島料理専門「醉心」本店 穴子づくしコース

◇食事会(ランチ)

LASUITE LE PAN Bldg.、西村屋 和味旬彩、HOTEL ANAGA



台北行に参加した職員からは、初めての台湾旅行でしたが、3日間で観光や食事を存分に楽しむことができ、とても充実した時間を過ごせました。自由行動では、事前に調べていたお店にも行くことができ、大満足です。思い出に残る素敵な旅行をありがとうございました。

軽井沢行に参加した職員からは、普段なかなか訪れる機会のない軽井沢のリゾート地で、温泉や観光を楽しみながら、ゆったりとした時間を過ごすことができました。日頃の疲れやストレスもすっかり解消されました。夕食のビュッフェも非常に豪華で、特にデザートが印象に残っています。来年度の職員旅行も今から楽しみです。とコメントいただきました。

職員の皆さんに喜んでいただけるよう、令和8年度の職員旅行の行先についても、栗原理事長に行先の候補をご検討いただくなど、旅行関係者との打ち合わせがすでに始まっています。

次年度の職員旅行の行先にも、ぜひご期待ください！

ハラスメント防止啓発委員会の活動

当委員会は、順心会・のじぎく福祉会、両法人のメンバーにより結成され、「働きやすい職場環境」を目指し、啓発活動を行っています。

☆令和7年度の主な活動内容

本年度は、事業所を3エリアに分け「パワーハラスメント防止」をテーマに3日間グループワーク中心に行いました。

【主任クラス対象のエリア研修】(①神野 ②加古川・高砂 ③神戸・淡路) 計42名参加

1. 職場のハラスメント対策に係る自主点検(ハラスメント対策の整備状況確認)
2. グループワーク(自らの体験を語り、ハラスメント防止の原点に返る)
①自己の体験談 ②自らの振り返り ③ハラスメント防止に向けて
3. 各グループ発表(ディスカッションの内容を明日に繋げる)



一人ひとりの気づきが、よりよい環境へ

ハラスメントは、受け取る側の感じ方によって大きな影響を及ぼします。

「知らなかった」「悪気はなかった」で済まされない問題だからこそ、日頃からの配慮と意識が大切です。参加された主任の皆様ありがとうございました。委員会は、互いを尊重し合える組織づくりを目指し、皆さんと共に活動を続けていきます。



障がい者ケアセンターかんの 生活介護サービスのご案内

■「その人らしく過ごせる時間」を大切に



障がい者ケアセンターかんでは、日中活動の場として生活介護サービスを提供しています。ご利用者一人ひとりの思いやペースを尊重し、安心して過ごせる環境づくりに取り組んでいます。

創作活動や軽作業、レクリエーションなど多彩なプログラムを通じて、毎日が充実したものとなるようサポートします。また、看護・介護が必要な方には、日中の生活介護(食事・入浴・排泄)や、身体機能・生活能力の維持・向上を目的としたリハビリも行っています。



■主なサービス内容

●日常生活の支援

食事、入浴、排泄など、日常生活に欠かせない動作について、一人ひとりの状態や希望に寄り添いながら支援を行います。安心・安全に、できる限り自立した生活を送っていただけるようサポートします。

●創作活動・軽作業

手芸や工作、季節に合わせた制作活動、簡単な軽作業などを通じて、楽しみながら意欲や集中力の向上を図ります。達成感を得られる機会づくりを大切にしています。

●レクリエーション活動

体操、ゲーム、季節行事、交流イベントなどを実施し、心身のリフレッシュや利用者同士のコミュニケーション促進を図ります。笑顔あふれる時間を提供します。

●機能訓練・リハビリテーション

身体機能の維持・向上を目的に、個々の身体状況に応じた機能訓練やリハビリテーションを行います。日常生活動作の改善や、無理のない継続を重視しています。

●看護・健康管理

看護職員による健康チェックや服薬管理、体調変化の早期発見に努めます。医療機関とも連携し、安心してサービスをご利用いただける体制を整えています。



■ご利用いただける方

以下のいずれかに該当する方が対象となります。

- ・身体障害者手帳1級または2級をお持ちの方
- ・障がい支援区分区分3以上の方
※50歳以上の方は区分2以上
- ・市町から障害福祉サービス「生活介護」の支給決定を受けている方



■見学・ご相談 随時受付中



ご利用に関するご相談や施設見学は、随時受け付けております。どうぞお気軽にお問い合わせください。

《利用相談窓口》

障がい者ケアセンターかんの

[TEL] 079-438-8577

[受付時間] 9:00～17:00 (月曜日～金曜日)

[担当] 小林・丹下・松浦

編集後記

謹んで新春のお慶びを申し上げます。今号では、当法人の多様な活動を特集しました。2026年も、互いに高め合う職員の熱意を力に変え、より良いサービスへと繋げてまいります。寒さ厳しき折、皆様どうぞ自愛ください。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。